

あべともこニュース

通常国会開会へ。

◆ 駆け込み派閥解散は何も解決しない！

次々と明らかになった、自民党派閥における政治資金。パーティー裏金事件。19日には、安倍派の大野泰正参院議員と秘書が在宅起訴。谷川弥一衆院議員と秘書、二階派会長を務める二階俊博元幹事長の秘書は公判を開かず罰金刑を求める略式起訴となりました。その他、岸田派の元会計責任者も略式起訴を受けました。が、そもそも派閥を率いている議員の立件は見送られ、まさに「トカゲの尻尾切り」状態。

安倍・二階・岸田の3派閥は、派閥解消の意向を示しましたが、麻生派、茂木派、森山派からは、「適切に対応していた派閥まで解散する必要はない」とこれに反発。また、自民党の「政治刷新本部」が発表されましたが、メンバー38人中、20人もの議員が本件とは別の公職選挙法や政治資金規正法に抵触した疑いがこれまで確認されています。

「政治資金が民主政治の健全な発達を希求して拠出される国民の浄財であるべきこと」を政権与党自らが強く再認識



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）
当選8回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこ子ども
クリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式X (旧Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

「政治とカネ」徹底解明を！

◆ 中間貯蔵施設設置の是非@上関

18日、超党派「原発ゼロ・再エネ100の会」は、山口県上関町に視察へ。同地は、1982年6月に中国電力による原発建設計画が浮上し、2011年東日本大震災1F事故後、計画断念がされる迄、反対運動が粘り強く行われてきました。しかし、昨夏に使用済み核燃料を保存する「中間貯蔵施設」の建設計画が突如浮上。住民の分断を再度生むのではと危惧されています。

町から、3.5キロ沖に浮かぶ祝島を含め、「奇跡の海」と称され、その海洋生態系等は重宝されていますが、建設により、土砂の搬入・埋め立て等が行われれば、全てが失われます。

原発がダメなら、補助金を出して中間貯蔵施設というあまりに住民の気持ちに蔑ろにしています。対話なき原発ゴミ処分はあり得ません。

写真：建設予定地に入れたのは国会議員のみ。非公開が買われている…

能登半島地震、子どもを守る環境を

◆ 能登半島地震、子どもを守る環境を
能登半島地震被害が目を追うことに深刻に。安否不明22人、死者232人うち14人が災害関連死となつています。(21日付)

こうした中、校舎の破損等のため、学校再開の目処が立っていないところも多くあります。被害状況の酷い自治体では、学習機会を確保する希望者を対象に集団避難などを進め、まず輪島市では、17日に中学生約250人が約100キロ離れた白山市に。親御さんと離れることはもちろん、生活環境の変化で心のケアを今後どうしていくかが課題といえます。24日には、輪島市の一部の学校で子どもたちの受け入れを再開することですが、避難所では、インフルエンザ等感染症感染者が増加しているという報道も。断水が続くなど、インフラの復旧も急務です。

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中！

輪島市教育委員会が進める中学生の集団避難

ただけですと幸いです。

立憲民主党神奈川県支部連合会
募金活動も行っていますので、ご協力

出典：毎日新聞「みんなと行ける」「学べる環境に」中学生集団避難の決断の理由(1/13)